

年末年始は火災に注意！

年末年始は空気が乾燥し火災が発生しやすい時季です。風が強く、ひとたび火災が発生すると大きく燃え広がる恐れがあります。

消防庁によると、畜舎における火災は、毎年全国で100件を超えており、住宅等の火災に比べ、全損比率が高く、焼損面積・損害額が大きいことが特徴です。

大切な家畜と畜舎を守るため、点検を行い予防に努めましょう。

1. 電気設備と配線について点検しましょう

(1) 漏電とショートの防止

絶縁体が傷ついたり、ホコリが湿気を帯びることによって、漏電やショートを起こし、感電や火災の原因になりますので点検しましょう。

- 電気設備と配線に雨や結露などの湿気はありませんか。
- 扉などに挟まれたり、ネズミや害虫にかじられたり、経年劣化による配線の露出はありませんか。
- コンセントやプラグ、機器のスイッチ周囲にホコリやワラくず、糞等の畜産特有のゴミは溜まっていませんか。

電気保安協会等の定期点検を受けて漏電の有無を確認しましょう。

(2) 過熱の防止

電気の使用容量をオーバーしたり、コンセント、機器のスイッチの接触が悪くなると過熱による発火の原因となりますので点検しましょう。

- タコ足配線による容量オーバーはありませんか。
- プラグはコンセントにしっかり差し込まれていますか。老朽化していませんか。
- 開閉器には適正なヒューズが使用されていますか。

2. 畜舎の火災の発生を想定した準備をしましょう

- 消火器などを設置しましょう。
- 消火訓練に取り組みましょう。
- 家畜の避難方法や避難場所を検討しましょう。

